

Tongaliビジネスプランコンテスト

Tongaliビジネスプランコンテストは、東海地区のすべての大学および協力大学の大阪大学・熊本大学の学部生・大学院生・ポストドクターを対象とし、学生が持つ技術やビジネスシーズ、アイデアをもとにした起業プランを募集し、大学発（学生発）ベンチャーの創出と起業家育成を目的としたコンテストです。

本コンテストに採択されたビジネスプランは、5カ月を目処に、メンターによるメンタリングとブラッシュアップを経て、確度の高いビジネスプランに仕上げていきます。また、期間中に国内外でのビジネスコンテスト等への参加を促し、より多様な視点でプロジェクトを遂行する能力の獲得を支援します。

さらに、5か月後には、出資およびアクセラレートプログラム等のオファー獲得を目指し、ベンチャーキャピタル等を招いたDemo Dayを開催予定です。



開催概要

- **開催日時**
 - 2020年10月10日（土）13:00～17:00（予定）
- **実施場所・方法**
 - ナゴヤイノベーションズガレージ（愛知県名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク4F）
 - 審査員及び登壇者は対面、聴講者についてはオンラインツールを活用したオンライン配信を予定
- **発表方法**
 - 応募者は各自7分間のアイデアに関するプレゼンテーションを行った後、審査員より5分間の質問を受けます。
 - 完全オンライン開催となった場合は、学生には事前に7分の発表動画を提出してもらい、当日はオンラインにて参加し質疑応答の対応をする。
- **審査項目**
 - 熱意・経営者力（発表者のキャラクター性およびプランに対する熱意や思いがあるかどうか）
 - 独自性（独自の着眼点や工夫があり、新たなニーズを掘り起こすことができるかどうか）
 - 市場優位性（競合との差別化、市場での優位性はあるかどうか）
 - 成長性（ビジネス及び市場に将来性があり、国内外での成長が期待できるかどうか）
 - 収益性（ビジネスモデル、収益計画が妥当かどうか）
 - 実現性（事業を進める体制・市場に受け入れられる根拠があるかどうか）

応募について

- 応募期間
 - 2020年8月24日（月）～9月22日（火）
- 応募資格
 - 東海地区の大学および協力大学の大阪大学、熊本大学の学部生・大学院生・ポスドクターが代表者で構成されるチーム・個人であること。
- 応募方法
 - 所定の申請書を[ビジネスプランコンテストウェブページ](#)より提出。
- 留意点
 - 1代表者につき1プランのみの応募可能。ただし、ひとつのチームの代表者が別のチームメンバーになることは可能。
 - 本コンテストに応募したアイデアの著作権侵害等については応募者の責任とし、Tongaliプロジェクトは関与しません。
 - 公序良俗の観点から適当でないと判断されたプランの評価は行いません。
 - 9月26日に開催する予選会および、10月10日の本選会に参加できること。

予選会の開催について

- 開催日
 - 2020年9月26日（土） 13 時～17 時（予定）
 - 実施場所・方法
 - 名古屋大学東山キャンパス ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC）にて対面で開催
 - 希望者はZOOMによるオンライン参加も可能とします
 - 発表方法
 - 各自5分間のアイデアに関するプレゼンテーションを行った後、審査員より5分間の質問を受けます。
 - 審査項目
 - 本選審査と同様
 - 予選会審査員
 - 日本ベンチャーキャピタル株式会社 常務執行役員
 - 株式会社ミライブプロジェクト 代表取締役
 - ナレッジネットワーク株式会社 代表取締役
 - 他2名調整中
- | | |
|----|-----|
| 北岡 | 侑子氏 |
| 牧野 | 隆広氏 |
| 森戸 | 裕一氏 |

本コンテストの採択チーム

総額280万円の活動支援金、協賛企業からのサポーター賞、事業化支援プログラムの提供、活動場所の提供

- Tongali賞
 - 総合審査の上位5チームについては下記の支援を実施
 - 活動支援金の支給（100万、60万、50万、40万、30万）
 - 事業化支援プログラム（リーンローンチパッド名古屋）の提供
 - Tongaliハウス（NIC3階）の1年間利用権
 - なごのキャンパス コワーキングスペース1年間利用権（上位3チームのみ）
- サポーター賞
 - 各企業様より副賞を提供（内容については各企業様判断）
- 起業家甲子園 全国大会出場権（NICT賞） ※該当者なしの可能性あり
 - NICTが実施する起業家甲子園の東海地区メンターの方にお越しいただき、起業家甲子園全国大会に推薦するチームをセクション
 - ICT分野の技術やサービスに関して審査を行う
- NEDO TCP セレクション（NEDO賞） ※該当者なしの可能性あり
 - 担当者が大学の技術シーズに関して審査を行い、NEDO TCPの支援プログラムの応募対象を選ぶ
- 海外チャレンジ賞 → 今年度は実施が困難なため賞の設定はなし

サポーター企業および審査員

- 審査委員長

- 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部長 佐宗章弘

- 審査員

- Beyond Next Ventures 株式会社 マネージャー 金丸将宏氏
- 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ 取締役パートナー 坂本教晃氏
- 株式会社IDEAPOST 代表取締役 平山雄太氏
- 株式会社パソナJOB HUB エグゼクティブ・フェロー 栗生万琴氏
- 株式会社ニュースピックス ブランドデザイン事業部 アカウント・エグゼクティブ 渡辺敬子氏

- サポーター企業様一覧（予定）



活動支援金について

- 受給した活動支援金は起業活動のための資金として有効に活用し、①成果報告書、②会計報告書を提出し、精算を行なう。
- 活動支援金の交付に先立って誓約書を提出いただき、使途の例としては、以下を想定しています
 - 調査費
 - 広告宣伝費・広報経費
 - 消耗品費・通信運搬費・賃借料・旅費・光熱水道費・印刷製品費・資料購入費
 - 創業に必要な機械設備・工具器具類等の購入・修繕に要する経費
 - プログラムの使用権取得に要する経費
 - 事業促進に必要な原材料費
 - 外注加工費

以下に該当した場合は、活動支援金の一部または全額の返還を求めることがあります。

- 学籍を失ったとき。
- 所属する大学賞罰規定により懲戒処分を受けたとき。
- 起業活動に関する報告義務（成果報告書、会計報告書）が履行されないとき。
- 傷病その他の事由により起業活動を中断したとき。
- その他、活動支援金の趣旨に著しく反すると判断したとき。

受賞後のサポート

事業化支援プログラム

スタンフォード大学で開発された仮説検証プログラムである「リーンスタートアップ」を受講し、ビジネスの確度を高める

定期的なメンタリング

全国からTongaliメンターをお呼びし、定期的なメンタリングや事業化についてのサポートをいただく

DEMO DAY

活動支援金の報告から事業化に向けての進捗状況、今後の活動も含めて産業界にむけてDEMOを行う

大学発ベンチャー支援

起業に向けてのバックオフィス支援や資金の提供、称号授与やインキュベーションの提供等、大学が実施する起業支援を受け事業化を目指す